

信者のスタート（使徒1:6-8）

新しい年が始まりました。夢や希望を抱いて1年を始める方や、毎年同じだと期待せずに始めた方もいるでしょう。私たちクリスチャンは、元旦礼拝を通してみことばをいただいたので、スタートがちがいます。2020年の元旦礼拝から、これから30年はサタンを踏み砕いて、神様が隠されたことが信者の歩みの中に現れる祝福があるという契約をもらいました。この契約をもらって、どのようにスタートすべきでしょうか。

まず、**信者はイエス様の十字架、復活、昇天のまことの勝利を土台にしてスタート**しましょう。それが**イエスがキリストですという告白**です。なにがあっても、どうであっても、ここからスタートするのが勝利の歩みです。この告白は、「すべてを完了した」を土台とする宣言です。神様の約束どおり、罪とのろいの運命、地獄の勢力は、完全に踏み砕かれました(ヘブル9:12)。その罪を口実に働くサタン(悪魔)のしわざは完全に打ちこわされました(1ヨハネ3:8)。神様を離れて滅びるしかなく、生まれながら御怒りを受けるべき子でしたが、いのちが与えられました。生きた新しい、いのちの道が開かれたのです(ヘブル10:20)。この約束がすべて完了されました。これを土台にしてスタートとします。宗教は、ここにたどり着くためにがんばりますが、私たちはイエスはキリスト、すべて完了されたからスタートするので、違うのです。すべての法則から自由になってスタートします。特に因果応報の法則は気にする必要はありません。なにをかをしたから、どうかということや、環境、条件、状況に左右されることから自由になってスタートできます。

イエスをキリストと信じる信者の私は「**無条件に**」**幸せな者だと宣言してスタート**することができます。それが正しくできないので、サタンに遊ばれるのです。幸せの概念を変えましょう。信じる信仰があるなら幸せな者です。詩篇1篇、幸いな

者は時にかなって実を結ぶと言われています。それが私のことです。アブラハムは、祝福の基とされて、アブラハムを祝福する者は神様が祝福され、のろう者は神様がのろうと言われました。すべての民はアブラハムによって祝福されると言われたのです。それは私にすでに成就しています。イエス様が弟子たちに、心の貧しい者は幸いですと言われたのですが、それは私のことです。義人は信仰によって生きています。それ以外のことは、内側からの声であれ、外側からの声であれ、すべて悪霊のいつわりだと断言して、「無条件に幸せな者」だと告白しましょう。ペテロはイエスをキリストと告白したとき、「バルヨナ・シモンあなたは幸いです」と祝福され、天の御国の鍵を与えられ、ハデスの門に勝つと言われました。それは私に成就しているのです。それゆえ、パウロは天にあるすべての霊的祝福をもって祝福してく



ださったと告白しました(エペソ1:3)。条件と関係なく、イエスに集中しましょう。イエス以外は見えないようにしましょう。幸せはイエスによって左右されるので、条件、状況、環境、努力は関係ありません。神様のことをアバ父と呼べる者になりました(ローマ8:15)。霊である神様とひとつ(Oneness)となった幸いな者です。イエスのかたちと言われ、義と認められ、栄光に富んだ者になっています。その祝福はだれも奪えませんが(ローマ8:39)。圧倒的な勝利者になっていて、すべてのことを働かせて益とされます。クリスチャンの人生は、根本的にだめになることはありません。肉的条件での幸せの概念を捨てて、目線とポイントをイエスに絞りましょう。**イエスに集中してスタート**しましょう。

そうすれば、他のなにかに振り回されることなく、確かな希望の確信を持ってスタートすることができます。加えて与えられることがテーマではなく、ります。植民地でも、自由でも束縛でも関係なく、

イエスの証人となる希望を持つことができるのです。イエスがキリスト、すべて完了した、自分は無条件に永遠に幸いだと告白するとき、**イエスの証人という絶対契約を握るようになります**。それは、止めることができず、必ず成就するので、希望となります。どんなことの中でもイエスの証人ということは進んでいきます。それが歴史の証拠です。そこに希望を見るのです。イエス様が弟子たちに「あなたがたはそれは知らなくてもよい」と言われたのは、無知でもよいということではなく、イエスの証人となることには、それは支障にならないということです。この約束は成就しました。この希望は、止めることはできないので、言い訳もありません。マタイ6:33が自分の告白となります。いままでこだわったテーマがちがっていたら、イエスの証人となる希望にテーマを変えましょう。ヨセフは奴隷でも幸せな者でした。イエスの証人の契約は消え

ずに進んだからです。イエスの証人となる希望を持った人々が使徒1:14のように**祈りに専念**します。これがスタートです。初代教会は、いままでこだわっていた植民地といういちばん重要なテーマをしまっておいて、すべて完了して、イエスによって幸せであり、イエスの証人となると、祈りに専念して集中しました。そこしかないのです。それ一本に集中するしかありません。サタンにだまされないようにしましょう。今年は300人に福音を伝え、30人とみことば運動を行い、3人が教会化されるという希望を抱き、契約とともに祈りに専念しましょう。イエスの血により神の子どもとされ、神様とワンネスとなるいのちの祝福を受けた幸いな存在の私たちはスタートが全然ちがいます。それを味わい勝利の一年となることをお祈りします。
(<http://jremnant.com>に音声と動画が出ています)

使徒1:6-8 信者のスタート

なるほど/ 誰もが夢と抱負を抱いて新年を始めるが、信者は、そのスタートが違う。信者は、イエスの十字架と復活そして昇天を土台にスタートし、それで、イエスを信じる信者は無条件に幸せ者だと宣言してスタートし、誰も止めることができない証人になる確かな希望の確信でスタートする。

ならば/ 状況や環境、条件に揺れずに、自分のレベルで制限せずに、祈りに集中しよう。教会全体で証人の契約を堅く握ろう。

インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文（2020年1月5日）

1部礼拝： 歩んで来た30年の始まり（創12:1-3）

アブラハムを祝福した理由を知って、その契約を握って始めるようにしてください感謝します。サタンの子から神の子どもに、霊的運命を変えるその契約だけを握って始めますように。神様が私に示す地、正確な契約を握ってみことばに従い、暗やみの勢力に勝ちますように。神様が祝福されたために祝福の源になった私によって、世界宣教、人を生かす福音運動が起きますように。契約的、根源的、代表的、記念碑的、不可抗力的祝福の証人になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

2部礼拝： 歩んで行く30年の始まり（I歴29:10-14）

神様のみこころが確実である「契約がある神殿」に私たちの人生をかけられる恵みをください感謝します。どんな状況や事件の前でも契約のみわざに従いますように。私個人の一生が神様のこと、永遠のことにつながる契約がある神殿の祝福を味わいますように。契約の箱、ソロモン神殿、ヘロデ神殿より10倍の祝福が備えられたRUTC、24システム(237カ国、いやし、レムナントシステム)を準備して、隠されたことを回復しますように。契約を味わいながら生かす献身礼拝をささげますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。